

東京牧村会の活動報告

東京牧村会 会長 岡 一一二

平成十八年秋に設立十周年を祝った当会は、総会の決議としてふるさと交流をより一層深める活動の一環として冬期に「牧つ子雪祭り」に参加すべく第一回「ふるさと訪問旅行」を計画、会員と家族及び知人を含め多数の参加を得て平成十九年二月に実施致しました。

今年第二回ふるさと訪問旅行に加え「ふるさと棚田オーナー」制度を発足させました。

●「農業体験・交流型、ふるさと棚田オーナー」

最近の自作農家の減少がふるさとの重要課題となっており、一都は牧農林業振興公社が受託生産を行っていることから、牧区と公社がタイアップしてその一部を東京牧村会の会員各位に貸し出さすとの交流を更に深めるものであります。

・一口面積 一アール(一〇〇㎡)
・一口会費 二八、〇〇〇円
・オーナーの特典 棚田米白米四〇kg又は玄米五〇kgの受領

以上の制度概要です。今春の田植えに一部会員が参加してスタート致しました。(今年度会員十六口)

今春すでに一部契約者も参加しての田植えも実施され、今後は刈取り等にも参加予定です。

この棚田オーナー制度は毎年継続しての交流活動とする予定でもあります。

●訪問旅行は今年も一泊二日で企画しましたところ昨年を上回る参加者を得て実施出来ました。

昨年はご承知の通り記録的な少雪の年で雪深いことで名高かつたふるさと牧区は黒々とした地肌を随所に見せており、雪像づくりコンテストは歓迎元の牧振興

会の皆さんが雪集めから苦労された様でありました。

第二回の今年は平年並みとは行かなかった模様ですが積雪もそこそこあり、天候にも恵まれ好コンディションの元で実施出来ました。

初日は昨年同様「歳の子づくり」と夜はふるさと要職の方々多数を含む皆様との交流を深める懇親会、ふるさとの銘酒を酌み交わし、カラオケも交えて盛会に行われました。

翌日の二日目は牧区体育館前の広場で雪像づくり、ゴソソ飛はし等に参加、又、数多く並んだ屋台でふるさとの味を楽しみました。

尚、雪祭り終了後公民館で開催された、三味線奏者月岡祐紀子さんによる「こせ唄演奏会」が行われ、多くの会員が興味深く聞き入っておりました。

●昨年のごとくが牧村出身の栗津キヨさんの幼少時代を映画化した「ふみ子の海」は多くの方々感動を与えた映画でした。新潟県人会の後援もあり、公開前に東京牧村会としても会報に三頁の特集PRで会員動員に協力、更には県人会主催の東京上野の東天虹を会場にしての有料試写会では岡会長が応援団長として活躍され、郷人会各位の協力を得て五百人近くの動員に成功、お招きした主演の鈴木理子さん、近藤監督それに栗津さんのお

二人のお嬢さんにも、感動頂きました。また公開初日には多くの会員の鑑賞がありました。

ふるさとでの興行も大成功であったと木浦市長からもお伺いし喜んでいらっしゃる次第です。

(文責 三浦資郎)



田植に参加の棚田オーナー

